

幼稚園に關する諸問題(二)

佐々木吉三郎(述)

○幼稚園の種類

幼稚園は、一定の時期の幼児を保育するだけの仕事をする所でありますから、その仕事たるや、も

とより簡単であつた、仕事の性質の上から幼稚園の種類を擧げる必要はなからうと思ひますが、幼稚園を經營する人の異なるに従つて區別をする事は色々に出來ると思ひます。今、其れを大體六通りばかりに區別してお話して見やうと思ひます。

△第一 家庭幼稚園 (Familienwärt) 之れは、殆ど、二三の父兄が相談して、或る一家族に幼兒を托すると云つたやうなので、極めて小仕掛けなり方であります。而し、よく、家庭の事情から兒童の性質迄迄解つて居る其所ら近所の兒童を集めて、家庭的に世話を出来るといふ點は、一つの長所であると思ひます。缺點としては、保母に

當る人は、専門家でなくて、との家の母親とか、お嬢さんとかの一二人の人方が其の仕事に從事するのでありますから、幼児の指導方法に就ては、あまり確りした研究が出来て居ないといふ點であると思ひます。

△第二 私立幼稚園 (Privatkindergärten) 前にお話をした家庭幼稚園と云へども、公立でない以上

は、私立であるのに相違ないのであります。此所に、更に私立といふのを擧げるのは、分類上稍明瞭を缺くの嫌ひがありますが、暫く、彼の國で、名付けた儘を踏襲して、お話する事に致しませう。それで、何所が家庭幼稚園と違ふかと云ふと、尙一層大仕掛けで、稍學校らしい形を備へるといふ點であります。まづ、日本の今日の私立幼稚園といふのは、大多數これに屬するものであると思ひます。計營者は、多くは一個人であつて、大抵、其れを一口の職業として、一家を立て、行くといふのであります。通例どんな人が保母の役を務めて居る

かといふと、多くは、あまり経験に富まない、若い娘さんに依つて營まれて居るといふ有様であります。所が、あまり未経験な若い人では、幼兒の本統の扱ひが出来るものでないのは云ふ迄もありませんから（匈牙利）國などでは、滿廿五歳以上でなければ正式の保母とはしないといふ規定になつて居ります。小學校であれば正訓導とか正教員とか云ふものに當るやうに、廿五歳以上の人でなければ、正保母とは云はないのであります。一體に、歐洲の方では、私立幼稚園に若い娘さんが世話ををして居るといふのが多いのでありますか、米國の「シカゴ」などでは、保母となる人に、餘程高い要求をしまして、立派な課程を踏んだ人でなければ之れに當ることが出來ないことにしたものであります、匈牙利や米國シカゴの例の様に、一個人が經營すると否とにからず、幼稚園の世話をすることは、所謂、單に幼兒の守りといふ意味で、未經驗の人に托する事を嫌らうやうになつて、保母

は、母親の代理として、母親に劣らぬ、若しくは母親以上の學徳を備へた立派な人でなければならんといふやうに、要求を高めて来る一般的の傾向が見られるのであります。

△第三 協會幼稚園 (Vereinskindergärten) 之れは諸種の會が計營して居る幼稚園の事でありますて、フレーベル會とか、若しくは、ペスタロツチ、フレーベル會だとか、色々の名が付いた會に附屬したものが、一個人の經營でなしに、或る團體の設立にかかるものであります。之れは、細かに別ければ、三つになると思ひます。其の一つは、市民幼稚園 (Bürgerkindergärten) と云ふ特別の名を付けて居る場合もありますが、つまり、幼稚園の發達は、どちらかと云へば、家庭の世話の届かない子供、即ち、貧民に近い方の家庭の子供を世話するのが普通で、又、その數も、最も多いのでありますか、中には、家庭が相當でも、事情によりて、よい幼稚園ならば頼み度いといふ事情の所も

あるわけでありますから、それ等の有福な家庭の子供を一所にして、それを世話する積りで、特に市民幼稚園といふ名を付けてやつて居るのであります。日本のは、どうしたものか、世話しなければならん筈の下等社會の幼児に對する保育事業が發展せずに、寧ろ、一つの飾りとして、お女中さんやおつきをぞろゝ連れて、出て行くやうな、よい家庭の子供を收容する幼稚園の方が發達して居りますから、大多數は、かゝる性質のものであらうと考へられるのであります。こゝは、もとより、設立者の如何によりて分類したのでありますから、日本の幼稚園の設立者は、これと同じでない場合もあらうけれども、集める兒童の性質から云へば、この市民幼稚園の幼児と同じものであると考へるのであります。その二是貧民といふ程ではないが、而し、有福ともいへぬ家庭の子供、即ち、中の下位の家庭の子供を集めある幼稚園であつて、第三は貧民の子弟を集める幼稚園であります。

この第二第三の幼稚園に對しては、總稱して國民幼稚園（Vereinskindergärten）と名づけて居ります。同じ、國民幼稚園の内に、極く貧しいものを集めたものと、比較的的家庭の事情のよい方の子供を集めたのと二つに別れるわけであります。思ふに、將來幼稚園の最も必要を感ずるのは、この下等社會の兒童に對する幼稚園で、日本にも、或る幼稚園は、特に貧民の子弟の爲めに設けたといふやうな事も伺つて居りますので、こういふのこそ、時勢の進運に伴つて、益々獎勵もし擴張もする必要があるであらうと思ひます。大都會若しくは製造工業の盛んなる所等には、大多數の労働者などがありまして、中には、夫婦共々に働くといふのも少なくはありませんが、幼児が手足まとひになつて、思ふやうに働けない、それが爲めに、或は一家の維持が出來ないとか、或は、國家の生產力がそれがれるとか云ふ事は、殘念な事であります。それが爲

めには、満一歳より三歳に至る位の幼兒に對して、
幼兒預り所（托兒所）の必要があり、満三歳以上
五歳位迄の幼兒に對しては、幼稚園が是非なければ
ならぬのであります。

△第四　これは、別に特別な名はありませんが、
獨逸のザクセン等には、其の著しい例があります。
す。つまり、工場の所有主などが、自分で雇ふて居る労働者全體の幼兒を保育するため建てた様なもので、かの、幾分、營利の傾きある所謂私立幼稚園とも異り、又第三に申した協會幼稚園とも異つて、多少慈善的に、雇主が労働者の家庭の子供の世話ををしてやるといふ様な性質のものであります。ザクセンなどでは、或る大きい幼稚園になると千二百人位の幼兒を入れて居るのがあります。そこには、保母の數が三十四人、手細工の先生（凡て女子）の數が七人、普通の男子の教師が三人で、いろいろ牛乳を飲む時とか、眠る時とか、云は守りの様なことをする擁護係

(Pfefferin)卅三人と云ふ様な、ザット七十幾人かの職員を雇ふて居る様な大仕掛けなものです。その中に一割以上位の極貧の家庭の子供には、冬の間には、食事をも給することになつて居ります。て、夏でも、牛乳などは勿論やります。ねむい子供の爲めには、一二時間位やすませる設備も出来て居ります。將來我が國でも、製造業の盛なるにつれて、労働者といふ一種の階級が増加して來ることは、西洋各國の事實に従してさくべからざる勢であると思ひます。彼の國では、労働者と云ふ階級は、殆ど人間と動物との間に位置するやうに考へられて居りますが、斯うなると、社會黨などの起るものとともになるし、又労働者の子供でも、將來どんなえらいひとが出來るかも知れん筈で、西洋のやうな労働者と云ふ浮ぶ瀬のない一階級を作ることは、好ましくないことあります。就ては、工場の所有者の如きものが、卒先して、その被雇者の爲めに幸福を計り、その子弟

の教育上などに熱心經營するといふ風を作りたいと思ひます。斯かる種類の幼稚園を、漸次増加して行くことが、私の最も希望する所で、而かも、工場の所有者などは、多數の労働者のおかげで、非常な利益を得て居るのでありますから、その幾分をさけば、容易に經營し得らるゝものであると信じます。

△第五 市立幼稚園

(Städtische Kindergärten)

これは獨逸には非常に少いが、シエワイス、イタリー、ハンガリー、オランダには、随分あります。多くは、幼稚園長が、其の市の視學などであります。これも、段々、市が整頓して来るにつれて、貧窮なる個人經營に依頼せずして、市の費用を以つて、建築も相應な、庭も廣い幼稚園を經營するといふ事は、非常に結構な事であると思ふのであります。

△第六 國立幼稚園

(Staatliche Kindergärten)

これは、我國の女子高等師範附屬の幼稚園の如き

ものが、嚴密な意味に於て、之に當るのであります。こゝでいふ國立とは向ふでは公立といふ意味に過ぎませぬ。即ち政府の法令の下に立てたといふものを皆國立と申すのであります。この意味では、千八百六十九年に、幼稚園も小學校と同様に、國家の學校系統の中に組み入れる事にしまして、千八百七十二年六月廿二日の文部省令に依つて、其の根本的規定を出して居ります。これによつてオーストリーでは幼稚園といふものが、國の大原則のもとに、小學校や何かと同じく經營するやうになつて參りました。又、シエワイスに於ては、ゲンフ縣が始めをなして、今は殆ど全國が、幼稚園を、小學校に附設することになりました。又、千八百九十四年に於ける英國の小學校令によると、小學校と幼稚園との關係は、從來よりは一層密接になつて參つたのであります。

ものも、だんく現はれて來て、次第に小學校や中學校と同じ様に、學制系統の中に入り込まうとする勢を呈して参りました。

日本幼稚園は、只今いくらあるか存じませんが公立幼稚園は、恐らく百四五十ばかり、私立幼稚園は六十位になつて居るだらうと信じます。合計二百有餘の幼稚園は、一寸多いやうでありますけれども、之れを、世界文明國に比しますと、まるで比較にはなりませんので、パリーの如きは、千九百年に、パリー市だけに、百五十九の幼稚園がありました。これ等を見ても、日本の幼稚園の前途は頗る遼遠なものであつて、その根本的の施設案は、我々の大に考究しなければならん問題であろうと思ふのであります。(以下次號)

誠は天の道なり、之を誠にするは人の道なり。誠なるものは勉めずしてあたり、思はずして得、從容として道にあたるは聖人なり。之を誠にするものは善を擇びて固く之を執るものなり。

招かれし家庭のいろく

(フレーベル會總會に於ける講演)

河井道子

私は幼稚園のことは不案内でありまして、幼稚園教育の大切なることは承知して居りますけれども、其方面のことに就ては少しも存じませぬのでござります、此所に題が書いてありますやうに、何かと私が外國で見せて戴きましたからして、其話を申上げましたならば其中には、さう云ふ事もあつたかと思召すこともあらうかと存じましたのでござります。

丁度一年半程、私は日本を留守に致しましたのであります、非常に仕合な境遇に會ひましたのでござります。外國に行つて被入る方は珍しいことではありませぬ、御婦人でも男子の方でも澤山ございますから、誰れが一人外國に行つたからつて珍しいことではございませんが、唯た私はあちら